

北里大学
同窓会
福井県支部

会報

No. 14
2003. 10



福井県支部ホームページ

URL <http://www9.ocn.ne.jp/~kitafuku/>
E-mail kitasato-fukui@arion.ocn.ne.jp

北里柴三郎博士生誕 150 周年記念シンポジウム

『新・感染症の時代を生きる ~ 21 世紀の感染症対策 ~』

平成 15 年 11 月 3 日 (月) 13 : 00 ~

北里大学薬学部コンベンションホール

* * 平成 15 年 12 月 NHK・BS 1 にて放送予定 * *

目 次

北里学園・大学の動向	清水賢涼	1
北里大学同窓会だより	秋田久直	2
平成 15 年度支部総会・懇親会を開催		3
喫煙は緩慢なる自殺である	石川 淳	4
赤福	南 佳宏	5
3 人の同級生と 30 年振りに再会	川端 與一郎	6
大学時代からの思い出	芳賀宗智	8
病院見学を終えて	宮下弘毅	9
私のサロマ湖 50 km マラソンへの思い	奥井光子	10
一体感	高城茂弘	11
福井県支部 H P を開設して 1 年が経過		12
支部行事報告		12
会計報告		13
私のスローライフ	Z . I	14
あしあと		14

表紙写真：相模原キャンパス (L1 号館 = 一般教養棟)

昭和 43 年、相模原キャンパスの第 1 期工事で教養部校舎として最初に建てられた。「北里」の「北」をデザイン化し、シンボリックな存在であった。どの学部もここで 1 年間の教養課程を学び、2 年生から白金や十和田キャンパスに移った。多くの同窓生にとって思い出の深い建物である。

(平成 13 年 11 月撮影)

今、福井県支部は...

北里学園・大学の動向

同窓会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は、当支部の活動に種々ご協力をいただきありがとうございます。

今年度の支部総会は、支部設立以来初めて嶺南・敦賀で開催しました。今年は『若狭路博2003』が嶺南一円で開かれることもあり、この行事に合わせて敦賀で支部総会を開き、ついでに若狭路博を楽しんでもらおうと企画しました。しかし、博覧会の主たる催しが秋に集中しており、また支部総会を予定した『敦賀きらめき温泉 リラ・ポート』の都合で5月25日(日)の開催となってしまいました。本部からは秋田理事にご出席いただきました。総会出席者は10名でしたが、敦賀在住及び近隣の同窓生の大半が参加されていたように思います。

総会の議事終了後、秋田理事から本部同窓会及び大学の動向を伺いました。その中で、「同総会関係には大きな変化や懸案事項はないが、学園関係では北里研究所と北里学園の法人統合については、財務状況及び財政運営上の諸問題で両法人間の見解が一致するに至らず延期となった」との話がありました。大学関係では、文部科学省が推進している『21世紀COEプロ

北里大学同窓会
福井県支部支部長 清水賢涼

グラム』に本学から申請した「天然素材による抗感染症薬の創製と基盤研究」が選定されたことの報告もありました。この『21世紀COEプログラム』は全国の数多の大学の中から50大学を選ぶというもので、我が大学が選ばれたことは画期的な出来事と思います。

なお、今年の北里学園役員改選において、本学同窓生である衛生学部第1回生で元同窓会長の柴忠義先生が、北里学園理事長・北里大学学長に就任されました。この先生は福井県支部設立時に同窓会長をされており、設立に当たっては種々お骨折りをいただき、また設立総会の際にはご出席いただいたりと何かとお世話になりました。そのような方が理事長・学長になられたということは、支部にとっても大変喜ばしいことと思っています。

昨年、当支部のホームページを開設して以来500回を超えるアクセスがあり、またリンクや投稿もあって充実してきていると感じています。これからも会員相互の連絡等に気軽に利用してもらえれば、さらに開設の意義が深まりますので、どしどし利用して下さるようお願い致します。

21世紀COEプログラムとは

「大学の構造改革の方針に基づき、平成14年度から文部科学省に新規事業として「研究拠点形成費補助金」が措置されたものです。このプログラムは、我が国の大学が世界のトップレベルの大学と伍して、教育及び研究水準の向上や世界をリードする創造的人材を育成していくために、競争的環境を醸成し、学問分野ごとに世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援することにより、活力に富み、国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進することを目的としています。

北里大学同窓会だより

福井県支部の皆様、お元気でご活躍のことと存じます。5月25日開催の福井県支部総会に、北里大学同窓会を代表して出席させていただきました。総会終了後、貴重なお時間を割いて敦賀市内を案内していただいた清水支部長をはじめ役員の方々に、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

今回の福井県支部総会は、例年の福井市から敦賀市に会場を移して開催されました。出席者の人数はほぼ同数にも関わらず、顔ぶれが3分の1以上入れ替わり、その大半は敦賀市内に居住・勤務される会員の出席であったそうです。ここに支部運営の難しさが垣間見られます。同窓会本部のある東京から見れば、関東地方から離れた所はある1点のように見えますが、それは県庁所在地等の代表的な都市をその県を代表して見ているからであり、実際には各道府県はとても広いということです。県境から県庁所在地まで2時間も3時間もかかる県もあります。支部運営の労力は計り知れないものがあります。

そのような中で、支部と会員をつなぐ手段は、会報等であると思います。さらに、福井県支部で昨年より開始したインターネットを介する支部ホームページ等も有効な媒体と思います。会報発行やホームページの管理・運用には多大な労力と時間がかかり、担当する役員の方々は大変でしょうが、ご尽力いただきたいと思います。「継続は力なり」です。

さて、北里大学同窓会の動向ですが、本年5月の大学同窓会定期総会において、小山田久会長が再選され、理事会の約3分の1が入

北里大学同窓会
支部担当常任理事 秋田久直

れ替わり新しい体制で運営が行われます。次に北里学園においては、7月より衛生学部衛生技術学科第1回の卒業生である、柴忠義先生(現、理学部教授)が学園の理事長・学長となり、小山田久同窓



会会長は学園の理事に選出されました。これとは別に、北里大学は平成14年度、15年度の世界的研究教育拠点形成のための『文部科学省・21世紀COEプログラム』に選定され、大学が高い評価を受けていることが伺われます。

1853年に生まれた北里柴三郎博士を学祖とする北里大学をアピールするために、北里大学同窓会では、来る平成15年11月3日に白金キャンパスにおいて、『北里柴三郎博士生誕150年記念シンポジウム』を開催いたします。主催は北里大学同窓会で、テーマは「新・感染症の時代を生きる～21世紀の感染症対策～」です。このシンポジウムは、平成15年12月NHK・BS1にて放送予定であり、現在計画が進められています。ご興味のある方は、是非ご覧ください。日程につきましては、ホームページ等を通じてご案内させていただきます。

これから福井県支部ならびに会員各位のますますのご発展を心より申し上げて、結びの言葉とさせていただきます。



平成15年度福井県支部 総会・懇親会を開催

平成15年5月25日(日)

平成15年度福井県支部総会・懇親会が『敦賀きらめき温泉 リラ・ポート』で開催されました。敦賀市での行事開催は、平成6年3月のスケート会以来これで2回目になりました。

本部より常任理事の秋田久直氏(北里大学医療衛生学部生理学教室勤務)が出席され、会員の参加は10名でした(委任状は26名)。いつもながら参加者が少ないのが残念でしたが、当支部に年会費を納入されておられる40名余りの方々から同窓会活動にご理解とご支援をいただいていると思うと心強く感じました。

総会では、秋田氏から北里大学と同窓会の現状や今後についての報告がありました。毎年欠かさず出席しておられる方々に、久しぶりや初めて出席された方が加わり、約3時間和やかに過ごすことができました。幹事をされました南佳宏氏(市立敦賀病院勤務)に心より感謝を申し上げます。



伊藤善祐	南佳宏	前川とも子	伊原清実	酒井一男	藤長宏昌
(敬称略)	湊正佳	清水賢涼	秋田久直	奥井光子	高城茂弘



喫煙は緩慢なる自殺である

石川 淳

(昭和55年医学部医学科卒業)

私は平成13年11月から禁煙した。今現在も続けている。大学へ入学した昭和49年から丸27年間、一日平均40本、休日には3箱(60本)体に悪いと思いながらも止めることは出来ず、かなりのヘビースモーカーであった。

煙草は決して趣味であるとか、嗜好品と言えるものではない。ニコチン依存症を形成して、止めたくても止められなくなるものである。その証拠に1~2時間ごとに煙草を吸いたくなるのは何故だろうか。以前は外来中や手術中に吸いたくて堪らなくなることがよく有り、特に手術終了後はオペ室ラウンジに駆け込み、必ず2本縦続けに吸っていたものだ。お酒を勤務時間中に飲む人はまずいない。しかし、煙草は勤務時間等を問わず吸ってしまう。これこそが依存症たる所以だ。

禁煙をした場合に多くの方が体重増加の状態に陥るがこれもニコチン依存症であった証拠である。私も完璧に5kg増え白衣がきつくてしょうがない。以前は私もそう考えていたが、いわゆる「愛煙家」とよばれている人々は、喫煙の効用として、ストレスの解消を挙げるが、煙草を吸うとイライラが静まる、心が落ち着く、ストレスが消失するというのはまやかしかである。全てはニコチンの禁断症状でイライラするのが、煙草を吸うことで取れるだけのことである。

煙草の効用で、高血圧・低HDLコレステロール血症・高Ht血症などの動脈硬化を招くことは広く知れ渡っているが、一番の問題点はベンツピレンを初めとする数多くの発癌物質が、煙草の煙や副流煙に含まれていることである。事実、私が過去に執刀した食道癌の患



者は、全員100パーセント喫煙者であった。

先月、日本たばこ産業(JT)は、国内の煙草総需要が平成17年度まで年3パーセント減少することを前提にした新中期計画を発表した。それによれば、JTの販売数量は平成12年度比で21パーセント減少し、営業利益も500億円の減益になる見込みだ。先進國中、喫煙率では後進国と言われていた日本もやっと先進国の仲間入りが出来そうだ。北里大学附属病院も本年4月1日より全館禁煙となった。今のご時世から考えれば当然のことであろう。外科のK前教授は超ヘビースモーカーであったが、本年3月31日をもって定年退職となり(外科は9月現在教授空席)、安堵しているらしい。

ちなみに国内線航空機は機内全面禁煙で、出発ロビーでは搭乗する前に吸い貯めしている輩がかなり目に付く。私が月に3往復(新横浜~米原)利用している新幹線は、昭和49年当時禁煙車は16両中1両(6%)のみであったが、現在禁煙車は11両(68%)で何と喫煙車はたったの5両である。

私が禁煙をした理由は健康の面ももちろんだが、敦賀に帰郷し実家を継承すると決めた

からである。少なくとも医療従事者である者、ましてや開業する事において、今までの「寄らば大樹のかげ」であった勤務医の心構えでは、患者・保険者・医療機関それぞれが痛みを分け合う「三方一両損」を旗印にした、小泉流医療制度改革の荒波を乗り切れないと思ったからだ。問診中に煙草の臭いがプンプンする医師から、「煙草を止めなさい」と言われても患者は絶対に納得しないし、軽蔑の念すら擁くであろう。道理である。

「喫煙は緩慢なる自殺である」との表題は私がレジデントだった頃、先輩の麻酔科医に私が手術棟ラウンジで喫煙する度に投げ掛けられた言葉である。当時は「聞く耳持たぬ」であったが、今はよくよく理解が出来る。この寄稿にて、同窓会福井県支部諸兄の愛煙家に一石を投じることが出来たら幸いである。

〔敦賀市・和久野医院〕

赤 福

昭和46年4月、初めて相模原の北里の門をくぐった。いろいろな出来事が今でもはっきり思い出される。あれから30年、時の経つのも早いものだ。早いと言えば、電車のスピード、敦賀から東京まで3時間半で行けるようになった。

大学2年の春、私は、いつものように米原まで行き、東京行きの「こだま」に乗った。今と違って、途中1、2回「ひかり」に抜かれるだけで「こだま」も十分速かった。何より、「ひかり」に比べ空いていた。それでも、その日は春休みと重なって米原から混んでいて立つことになった。名古屋まで我慢すれば座れると思った。案の定いくつかの席が空いた。迷わず窓際の席に座り一安心。ホームを見ると降りた数より多くの人が一列に並び乗車を待っていた。

その時、女性が小走りに近づいてきて、私と目が合った。とっても美しい、今まで見たこともない、知的で清楚な女性。私に指を指し、二言三言は話し掛けてきた。聞き取れないがすぐ理解できた。私は、横の空いている席に素早く鞆を置いた。その後すぐ大勢の人

南 佳 宏

(昭和50年薬学部薬学学科卒業)

で車内は一杯になった。何人かの人から尋ねられたが、「連れが着ます」と即答した。しばらくすると、歳の頃なら70歳ぐらいの上品なおばあさんが腰を掛けた。思わず「連れが...」と言いかけた時、おばあさんはホームを見ながら手を振った。ホームには、先ほどの美しい女性が私に「ありがとう」と言った。こだまは、静かにホームを離れ一路東京へ。深いため息が一つ出た。

おばあさんは、今朝伊勢から出てきて、「東京にいる孫の所へ行き、東京見物をする」と、嬉しそうに話してくれた。ホームにいた女性も孫で、名古屋まで送ってくれたとのこと。“いいことをしたのかなあー”と思いながらも話が弾んだ。別れ際、「お世話になりました」と言って赤福をくれた。とってもおいしかった。今でも名古屋駅に着くたびに、あの頃を懐かしく思い出す。



〔市立敦賀病院薬剤部 勤務〕

3人の同窓生と30年ぶりに再会

この1年の間に大学時代の3人の同級生と、約30年振りに再会した。お互いにとって30年振りと言えば、大学を卒業してから初めてということになり、大変に懐かしかった。相模原、それに十和田の北里大学での4年間、獣医師になるために共に机を並べて講義を聞き、また実験・実習に励んだことが、つい先日のことのように甦った。この度30年振りに再会した同級生3人を紹介してみたい。

* * * * *

奈良県の中山正成君と再会

平成14年9月7日・8日の2日間、福井市のフェニックス・プラザで『平成14年度中部獣医師会連合会大会福井2002及び日本獣医三学会』が開催された。この時、中山君は日本獣医三学会の中の日本小動物獣医学会の特別講演の講師として招かれていたので、来福した折りに再会した。そして、その夜、本支部の会員であり、また私達と同級生でもある秋田裕一君も交わり、3人で杯を交わし合い、



川端 與一郎

(昭和48年畜産学部獣医学科卒業)

再会の喜びと在学中の思い出話等に花を咲かせた。

彼のことについては、獣医師会雑誌等で活躍の状況は若干知ってはいたが、会って再認識した。彼は



奈良市で獣医科病院を開業しており、15人ほど雇用しているという。そして、内8人は獣医師であるという。開業の傍ら奈良県獣医師会の副会長をしており、さらに日本小動物獣医学会の副会長でもある。また、医学博士と獣医学博士の2つの博士号を持っている。彼の活躍振りには驚くばかりであり、今後のますますの活躍を期待したいものである。

新潟県の若槻敏博君と再会

平成15年7月23日・24日に、北海道札幌市において『平成15年度全国食肉衛生検査所長会議及び第39回全国食肉衛生検査所協議会



全国大会』が開催され、これに私は出席した。この時、若槻君は新潟市食肉衛生検査所の所長として、この会議及び大会に出席していた。彼は私と同じ地方公務員で、しかもこれまで食品衛生・環境衛生・狂犬病予防行政、また食肉衛生検査等同じような内容の仕事を経験してきた。2日間の会議と大会の合間に、仕事のことを始めいろんなことについて、同級生とあって気安く話をすることができた。その後も、仕事上のことを主としているいろいろ情報交換を行っている。

北海道の松浦正君と再会

平成15年7月25日に、北海道旭川市の松浦君と再会した。これは前記のように、前々日(23日)と前日(24日)に札幌市で仕事に関係する会議及び大会があったことから、折角の機会と思い旭川市まで足を伸ばしたのである。彼の家では以前にミンクや銀ギツネの毛皮獣の飼育経営をしていたことから、私は約30年前の学生時代にその飼育実習に2週間ばかり行ったことがあり、思い出深い所なのである。

今回訪れた時、彼は農業組合法人 北海畜産組合の代表理事をしており、その経営を仕切っていた。しかし、ミンクや銀ギツネの毛皮獣は全く飼育していなかった。ミンクはその後最盛期には6万頭程飼育していたという。しかし、貿易自由化の影響で採算がとれなくなり止めたということであった。現在は肉牛



を約500頭ばかり飼育し、同時に彼は獣医師であることからこれらの中で病気や怪我をした牛の治療にも当たっていた。彼には、今後とも安定した大規模畜産経営に取り組んでいられることを期待するものである。

* * * * *

約30年振りに再会した同級生3人は、同じ獣医師であるも仕事の分野はそれぞれ異なっているが、皆大変元気で仕事に燃えていた。また、体格も学生時代より一回りも二回りも大きくなっており貫禄があった。話の話題は学生時代のこと、仕事のこと、家族のこと、また卒業後の同級生のこと等であり、話は尽きないものであった。しかし、再会してみて、同級生とはいいいものだとつくづく感じた。今後とも全国の同級生と親交を図っていきいたいと考えている。

〔福井県食肉衛生検査所 勤務〕



十和田キャンパス

大学時代からの思い出

福井県支部の皆様、初めまして！

ご指名がありましたので、僭越ながらキーボードを叩いております。現在の私の職業は花屋です。家業を継いだわけですが、大学時代から色々ありましたので自己紹介を兼ねて寄稿致します。

* * * * *

そもそも生き物好きの私は獣医を目指し、2浪(代ゼミ、YMCA)して畜産学部に入學。入學後、すぐに以前からの趣味であったエンデューロ(オフロードバイクの耐久レース)に熱を上げ、相模原の16号線沿いにあったトレッドというバイク屋さんにスポンサーになってもらい、富士山にぞっこん(かれこれ100周はしたと思う)。ドイツ語と英語を残したまま、何とか十和田に仮進級(このまま3年まで持ち越した)。

十和田には私の大好きな未舗装道路が縦横無尽にあり、八甲田山を制覇、もちろん温泉も！しかし、もともと好きな物には熱を上げるタイプの私。何を思ったのか、専門学になって生まれて初めて100点を取り、3~4学年でちょっとだけ勉強した。獣医衛生学教室にお世話になり(ロードコッカス・エークイ菌の発生についてだったと思う)椿教授とスキーやキャンプ三昧(結局遊んでいた)。何とか単位も取得して卒業。

東北にカメイ(東証一部上場)という商社があり、海外事業部に食肉を扱う部があったのでそちらを希望したが、人事部は畜産の私を石油部に配属。しかも、九州は福岡支店に勤務となり、私は平成2年4月25日福岡の地を踏んだ。十和田の桜は5月の連休前に咲くが、

宮城県北里会事務担当 芳賀宗智
(平成2年獣医畜産学部畜産学科卒業)

4月後半のその時は福岡の桜などどっくの昔に散っており、時折セミが鳴いていた。長袖ジャンパー姿の私は、明らかに半袖半ズボンの福岡人と違っており、途中でお袋に「土がない！コンクリートしかねーでば！ミンミンゼミが鳴いてる」と電話し、泣き泣き支店に向かった思い出がある。

数年間博多弁と焼酎漬けを経験し、久留米のお嫁さんを奪い取り長男が生まれたとある日、親父から「お袋が倒れた」との電話。妹も外に出ている現状では親父一人では無理と判断し、本社転勤(仙台)を希望した。当時一人で自家発電(コ・ジェネレーションシステム)の販売をしていた私は、本社行きにOKが出て引っ越しの準備にかかり5年過ごした九州を後にした。

仙台に着き、大変なお袋を見舞おうと玄関を開けたその時、一番搾りを手にしたお袋が「お帰りー 疲れたべ 呑むが！」私ども夫婦は呆然と北風にさらされた。脳梗塞で倒れたのは事実だったが、何ともすぐに復活し、大慌ての私どもに何も言えなかったとか…。しかも、私の親父はカメイの出身。根回しが出来ており本社に出社すると退職金を渡されジ・エンド。何とも怒っても仕方がなく、いつのまにやら花屋になっていた。昔ちょっとだけ勉強した衛生系の技術や生理学が役に立っているのがとても違和感があるが、8年目の私もいっばしのフロリスト！新郎新婦の打ち合わせや、悲しみのお宅に、商社で鍛えた話術で毎日をこなしている。

* * * * *

北里会は昨年より事務を承り、皆さんに助けられて何とかやっています。会員数増強のイベントなどを企画しながら、人生が楽しくなるような会にしていきたいと考えています。昨年より問題になっていた牡鹿牧場の閉鎖で恒例の行事が無くなり、皆さんに会える機会を作らなきゃと花が詰まった頭で考え中です。今年は岩手県支部も出来たのでそちらと合流とか、山形県支部さんと芋煮会(山形、宮城の収穫祭の名残)と一緒にするとか...いやはや大変です。どうぞ良い案があったらお教えてください。

乱文にて失礼致しました。皆様におかれましてはお体ご自愛ください。また、精神的リラックスにお花をお飾りください...いいもんですよ一輪だけでも。

宮城県北里会のメールアドレス
Kitasato@HanaSen.jp

〔追伸〕 先日、女房の実家に車で帰りました。
《仙台 久留米、片道 1,444 km 18時間》
その時に福井を通りましたが、行きも帰りも夜中なのでお声掛け出来ずに通り過ぎてしまいました。一度皆さんにお会いしたいです。



宮城県北里会 平成 15 年度総会

病院見学を終えて

初めまして。私は北里大学医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻 4 年生の宮下弘毅と申します。

このたび、北里大学の先輩に当たる臨床検査技師の伊藤さんの紹介で、伊藤さんが勤めている福井循環器病院を見学訪問させていただきました。見学日数も 4 日間と比較的長かったです。臨床工学士の方々にはお忙しいにも関わらず人工心肺や心臓カテーテル検査等の業務内容をご丁寧に教えていただきました。このような臨床工学士の業務を始めとして、病院内の雰囲気も感じることができ、

宮下 弘毅
(医療衛生学部医療工学科 4 年生)

自分にとって貴重な経験になりました。

病院実習も終了し、いよいよ就職活動も開始。就職活動と卒業研究の同時進行で、毎日忙しい日々になりそうです。病院見学などの貴重な経験を通して、自分自身を見極めていきたいと思います。



私のサロマ湖50kmへの思い

奥井光子

(昭和49年衛生学部衛生技術学科卒業)

6月30日、私はサロマ湖の50kmレースに3度目の挑戦をすることが出来た。50歳からの人生は、神様からの贈り物だと思って大事に過ごしたい。その思いもあって、3年前50歳の記念にと思い切って初挑戦。サロマ湖100kmのマラソンは、世界公認レースでもある。フルマラソンでさえようやくの私が、5時間45分でゴールした。素晴らしい感動だった。

今あるすべての環境に有難いと思った誕生日の5月に、年1回の健康診断を受け挑戦するのだが、今年もまた心電図でひっかった。昨今、スポーツで突然亡くなる人が増え、本当に怖い。今回は福井循環器病院で、いつも北里同窓会でお世話になっている伊藤さんをお願いして検査をしていただいた。

私はいろんな人にお世話になりながら、今年も暑いサロマを走った。最後の10kmを歩いたが、私にとっては感動のレースだった。49kmが終わり、ゴールまで1kmの最後の看



板が見えた。私は笑顔に戻り、最後の気力で再び走った。夫婦で共に走れることに感謝しながらのラストランは感動だった。

今年もいい年になりそうな予感がした。

来年の夏もサロマに来よう。



周囲約91kmのサロマ湖は、常呂町、佐呂間町、湧別町の3つの町にまたがる大きな湖。約20kmにも及ぶ細長い砂州によってオホーツク海と区切られている。



一体感

甲子園...それは春のセンバツ高校野球、夏の全国高校野球選手権大会の舞台として、また東西のアメフトのナンバー1同士が激突する甲子園ボウルの場として、数々のドラマが繰り広げられている。そして、言わずと知れた阪神タイガースのホームグラウンドである。この会報が発行される頃にはもう優勝が決まっていると思うが、今年の盛り上がりは本当にすごいものである。チームは開幕から快進撃を続け、甲子園は連日の満員御礼、シーズン観客動員新記録も更新されている。

私は7月の終わり、この甲子園へ友人4人とナイター観戦に出かけた。対戦相手は横浜ベイスターズ。この日は天気も良く、絶好のナイター日和。試合開始が近付くにつれ、スタンドはどんどん観客で埋まってきた。そして、プレイボール後しばらくで超満員。スタンドを見渡すと横浜ファンは応援団のいるレフトスタンドのほんの一角だけで、それ以外は周り約350度をすべて阪神ファンが取り巻いていた。これにはびっくりした。また、これだけの人が一斉に黄色いメガホンを振りかざす光景は圧巻で、相手チームに同情すら感じるほどであった。

阪神の攻撃時、応援は大いに盛り上がった。応援団の指揮に合わせ、打席に立つ選手の応



高城 茂弘

(平成13年医療衛生学部衛生技術学科卒業)



援歌を大合唱し、メガホンやバットを叩いて大声援を送る、大変にぎやかなものであった。さらに、ラッキー?な事には、甲子園名物ジェット風船が飛び交い、阪神の選手がヒットやホームランを打ったり点を取ろうものなら、周りの人が他人であろうと関係なく皆一緒に大はしゃぎ。その1球毎に一喜一憂するのがとても楽しく、またスタンド全体で一斉に応援するというあの「一体感」に、私は何とも言えない心地良さを感じた。残念ながらこの試合阪神は敗れたが、次回は必ず勝って「六甲おろし」を歌いたいと思う。

* * * * *

私は今年で卒業後3年になります。人口の少ない福井県ですが、だからこそ同窓生というつながり、そのつながりで集う者たちで作る「一体感」を大事にしていきたいと感じています。今後できるだけ行事にも参加したいと思いますので、皆さんよろしく願い致します。

最後になりましたが、来年は我が巨人軍の活躍を祈ります。

〔市立敦賀病院検査科 勤務〕



福井県支部HPを 開設して1年が経過

伊藤 善祐
(福井県支部会報・ホームページ担当)

福井県支部ホームページを平成14年8月に開設してから、早や1年が経過しました。同窓会本部のホームページにリンクを設けていただいたお陰で、支部ホームページへのアクセスは10月で約600件になりました。毎日どこかで見ていただいていると思うと、大変嬉しくなります。

さて、ホームページはタイムリーな更新が必要なのですが、なかなか難しい現状です。毎年の総会・懇親会の他に、何か話題がないかと考えながらページを作成しています。これからも会員の皆様からのお便りや情報をお待ちしています。

このホームページを末永く続けていけるように努めてまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願い致します。



福井県支部事業報告

平成14年度

総会・懇親会

開催日：平成14年6月28日(金)午後7時～9時
場所：ウェルシティー 福井厚生年金会館(福井市)
出席者：11名(委任状33名)

会報・名簿発行

発行日：平成14年10月15日
部数：250部



平成15年度

総会・懇親会

開催日：平成15年6月25日(日)午後0時～3時
場所：敦賀きらめき温泉 リラ・ポート(敦賀市)
出席者：10名(委任状26名) 本部より秋田理事

会報・名簿発行

発行日：平成15年10月15日
部数：250部



会計報告

平成14年度決算

平成14年4月1日～15年3月31日

収入の部

科目	予算額	決算額	増・減(▲)
前期繰越金	83,946	83,946	0
年会費	70,000	84,000	14,000
通信費援助金	20,000	22,200	2,200
総会開催祝金	50,000	50,000	0
雑収入	20	15	▲5
合計	223,966	239,961	15,995

通信費援助金は、総会案内の発送件数に応じて同窓会本部から援助されるものです。
平成12年度より200円/人になりました。
雑収入の内訳は預金利息です。

平成15年度予算

平成15年4月1日～16年3月31日

収入の部

科目	予算額
前期繰越金	36,766
年会費	70,000
通信費援助金	20,000
総会開催祝金	50,000
雑収入	15
合計	176,781

支出の部

科目	予算額	決算額	増(▲)・減
名簿関係費	20,000	21,533	▲1,533
会報関係費	50,000	69,708	▲19,708
総会費	30,000	11,667	18,333
懇談会費	30,000	33,123	▲3,123
会議費	20,000	10,804	9,196
慶弔費	0	0	0
事務費	5,000	2,220	2,780
事業費	0	0	0
(小計)	(205,000)	(203,195)	
予備費	18,966	0	18,966
事業用積立金	0	0	0
次期繰越金	0	36,766	▲36,766
合計	223,966	239,961	▲15,995

支出の部

科目	予算額
名簿関係費	20,000
会報関係費	60,000
総会費	25,000
懇談会費	40,000
会議費	20,000
慶弔費	0
事務費	5,000
事業費	6,000
(小計)	(176,000)
予備費	781
事業用積立金	0
次期繰越金	0
合計	176,781

会費を納めていただきありがとうございます。福井県支部の運営は、皆様からの会費ならびに参加費によって行われています(会報及び会員名簿は、名簿に記載されている全員の方々に送付されています)。今後ともよろしくお願い致します。

年額 2,000円/人(ご夫婦では 3,000円)
〔郵便振替〕00710-8-24950 北里大学同窓会 福井県支部

私のスローライフ

最近、『スローライフ』という言葉に耳にされたかと思います。『スローライフ』って何でしょうか？ のんびり暮らすこと？ 車や電車にも乗らないの？ ...ではないことは、皆様もお分かりだと思います。

近年、すごい速さで科学技術が発展し、そのための弊害もたくさん出てきました。しかし、この速度を止めることは、実は人類の終わりを意味しています。地球上で生きるたくさんの人々が今までどおりに生きていくには、科学技術の更なる加速が必要である以上に、今問題となっている環境問題やエネルギー、食糧問題を解決しなければなりません。そのために、一人ひとりの意識の変化が求められている時代と言えるでしょう。

それでは私自身はどうか？...プライベートで一番大切にしているのは、家族や友人、他人、そして動物や植物を思う気持ちです。そして、花や木、野菜を育て、美味しい物を食べ、子供たちが健康にすくすくと成長してほしいと願いながら、少しずつですが気持ちの良い環境づくりを実践しています。

厳しい社会環境の中、問題を解決するために“常に何かにチャレンジしていく気力”と『スローライフ』を自分自身のスタイルにしたいと思っています。
(Z.I)



あしあと（編集後記）

今年はいラク戦争と戦後処理から始まり、北朝鮮の拉致問題、少年犯罪、長引く不況、集中豪雨や冷夏による被害、コンピュータウィルス、そして東北・北海道の地震等、暗いニュースばかりでした。これから年末にかけて良いニュースがあることを願っています。

医療関係も厳しさを増している中、今年も福井県内で就職（臨床検査技師）を希望する学生達にアドバイスをしています。大学でも就職が厳しいと言われている彼らに、「チャンスは必ずあるから...」と希望を持つように言っています。毎年就職が決まったという報告を聞くと、自分の事のように嬉しくなります。

私が卒業した頃は、希望する所にほぼ就職できた時代でした。だからこそ、就職難を不況や医療政策のせいにならず、私達の世代が後進を採用できる環境を作っていく責務があるのではないのでしょうか？

今回は、同窓生の方々からの寄稿によって完成することができました。心より感謝を申し上げます。“継続は力なり”さっそく次号に向けてがんばります！

この会報を作っていると、1年が何と早く経つのだろうと感じます。“光陰矢の如し”大学を卒業して30年目を迎えようとする今、これからは若い世代の意見を聞いていこうと考えています。
伊藤 記

編集

伊藤善祐 江島昌希
竹下人美

発行日

平成15(2003)年10月25日

発行責任者

清水賢涼

事務局

〒914-0047

敦賀市東洋町6-66 清水方

TEL (0770)25-6593